



「小水力エネルギープロジェクト研究コア」設立記念国際シンポジウムを開催

概要

九州大学大学院工学研究院は、平成 26 年 11 月 1 日に、特定プロジェクトコア「小水力エネルギープロジェクト(PJ) 研究コア」を設立し、同日、設立記念国際シンポジウムを開催します。

ASEAN 地域で主導的な役割を果たしているインドネシアの小水力ネットワークと連携し、地域が主体となった小水力発電の研究開発の取組について講演、事例紹介等を行い、関係者間のネットワークを構築します。

■背景・内容

九州大学大学院工学研究院では、環境社会部門水圏持続学講座を中心に地域が主体となった小水力発電の研究開発に取り組んできました。また、「小水力エネルギーを地域の財産として、持続的な視点をもって、地域が主体となって活用する」そのための社会的合意形成や適正技術開発について実践的な研究を国内外で行い、ノウハウや経験、ネットワークを蓄積してきました。

小水力発電の導入には、河川工学、土木工学、機械工学、電気工学、電力システム工学等の横断的な工学知識に加え、人的・社会的要素あるいは水利権に関する歴史的要因も関わる総合的・学際的視点からのアプローチが求められます。工学研究院では、これらの具体的な小水力発電導入プロジェクトを持ち寄り、プロジェクト研究を通じて技術を高め、共有するための「コア」ネットワークとして、平成 26 年 11 月 1 日に、特定プロジェクトコア「小水力エネルギーPJ 研究コア」(以下、「小水力コア」)を設立し、同日、設立記念国際シンポジウムを開催する運びとなりました。

<九州大学大学院工学研究院小水力エネルギーPJ 研究コア 設立記念国際シンポジウム>

○日 時：平成 26 年 11 月 1 日 (土) 13:00～16:30 (受付：12:30～)

○場 所：九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館

○内 容：

13:00～13:20 来賓挨拶

13:20～13:50 島谷 幸宏 (九州大学大学院工学研究院小水力エネルギーPJ 研究コア 代表)
「小水力発電を地域の力で、小水力研究開発コアの基本的考え方と構想」

13:50～14:05 塚原 健一 (九州大学大学院工学研究院小水力エネルギーPJ 研究コア 副代表)
「環インド洋域を展望する九州大学の国際貢献」

14:05～14:20 千葉 淳 (パシフィックコンサルタンツ株 取締役)
「土木コンサルタンツの新しい役割と小水力エネルギーPJ 研究コアへの期待」

(休憩)

14:40～14:55 藤本 穰彦 (九州大学大学院工学研究院 特任助教)
「日本とインドネシアの小水力発電、学び合いを通じた地域課題の解決」

14:55～15:15 Faisal Rahadian (Asosiasi Hidro Bandung, AHB)
「インドネシア小水力アソシエーション (=AHB) の実践が意味するもの」

15:15～15:35 Heru Prakoso Siswono (PT.Karamatraya)
「AHB の小水力技術-Learn, Build, Share によるイノベーション」

15:35～15:55 Eddy Permadi (PT.Cihanjuang)
「AHB の理念の実現と小水力社会企業の実践」

15:55～16:30 エール「小水力研究開発コアに期待するもの」(コーディネーター：島谷 幸宏)

*参加費無料。インドネシアからの招待講演は日本語の解説・通訳あり。

*本シンポジウムは、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）新エネルギーベンチャー技術革新事業「小水力発電機の技術開発及びその他小型発電との連携による小型EV充電システムの構築」（平成24～26年度）の成果の一環として開催します。

■今後の展開

小水力コアは、「社会的合意形成部門」、「適正技術開発部門」、「国際連携部門」の3部門から成り、今後、国内外の小水力ネットワークを構築・活用して、以下の取組を順次展開していく予定です。

- (1) 「官・学・民プラットフォーム」を設置し、小水力発電所の具体的な導入・設置プロジェクトをケーススタディとした実践学習の機会を提供します。
- (2) 地域主体の小水力発電所設置に関する相談窓口を開設します。基本的なことから応用まで相談を受けて、プロジェクトの推進をサポートします。〔九州大学発小水力導入カンパニー・株式会社リバービレッジとの連携〕
- (3) 小水力技術（特に導入技術）に関する技術トレーニングを提供します。
- (4) 小水力発電を体験的に学習するデモンストレーションを実施します。デモンストレーション技術の指導を行うことも可能です。〔五ヶ瀬自然エネルギー研究所との連携〕
- (5) 地域や自然条件に合わせた小水力発電の適正技術について、地域の中小企業等と共同研究・共同開発を行います。〔茨城大学農学部等との連携〕
- (6) 84名の専門技術者から成る「インドネシア小水力アソシエーション」との連携を基盤として、インドネシアを中心としたASEAN地域での小水力技術移転や導入、小水力地域づくり等の国際共同研究に関するサポートを行います。〔静岡大学農学部、バンドン工科大学、インド工科大学、ASEAN小水力技術研修センター、インドネシア小水力アソシエーション等との連携〕



写真：糸島市白糸の滝発電所
(インドネシアHeksa社製クロスフロー10kW)



写真：五ヶ瀬中等教育学校SGH研修
(インドネシアCihanjuang社ラボにて)

【お問い合わせ】

大学院工学研究院 特任助教 藤本 穰彦（ふじもと ときひこ）

電話：092-802-3438

FAX：092-802-3438

Mail：fujimoto@civil.kyushu-u.ac.jp

九州大学「小水力エネルギープロジェクト研究コア」

設立記念国際シンポジウム



Japan - Indonesia



高まる自然エネルギーへの期待に応える、地域に根差した適正技術の開発と地域産業創生のための国際的研究機関の誕生！



日時：平成26年11月1日（土）13:00 - 16:30

会場：九州大学伊都キャンパス稲盛記念会館（1階大ホール）

（福岡市西区大字本岡744番地）

- 「小水力発電を地域の力で～PJコアの基本的考え方と構想～」
島谷幸宏（九州大学工学研究院教授・九州大学小水力エネルギーPJ研究コア代表）
- 「環インド洋域を展望する九州大学の国際貢献」
塚原健一（九州大学小水力エネルギーPJ研究コア副代表）
- 「土木コンサルタンツの新しい役割と小水力PJコアへの期待」
千葉淳（パシフィックコンサルタンツ(株)取締役）
- 「日本とインドネシアの小水力発電～学び合いを通じた地域課題の解決～」
藤本穰彦（九州大学工学研究院特任助教）
- 「インドネシア小水力アソシエーション（AHB）の実践が意味するもの」
Mr. Faisal Rahadian (Asosiasi Hidro Bandung)
- 「AHBの小水力技術—Learn, Build, Shareによるイノベーション」
Mr. Heru Prakoso Siswono (PT. Karamatraya)
- 「AHBの理念の実現と小水力社会企業の実践」
Mr. Eddy Permadi Nurgana (PT Cihanjuang)

※当シンポジウムに関する連絡先※ 九州大学大学院工学研究院 電話・FAX：092-802-3438

【主催】九州大学小水力エネルギープロジェクト研究コア

本シンポジウムは、NEDO新エネルギーベンチャー技術革新事業「小水力発電機の技術開発及びその小型発電との連携による小型EV充電システムの構築」（2012～2014年度）の成果の一部です。